

議会報告



平成30年第2回定例市会 11月議会が行われました。

前回の9月議会において、市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反(いわゆるヤミ専従)の問題で、違法・不当な支出等が明らかとなったため、平成29年度の各会計決算及び関連議案の全部について、「認定・不認定」の結論を出しませんでした。その後、12月3日に行われた第三者委員会の中間報告では、違法に支給された給与・手当の額が報告され一定の進捗が認められ、12月4日に行われた意見表明において、私たち自由民主党神戸市会議員団は、今後、早急な事実関係の全容解明のほか、違法な退職手当等の返還請求や関係者の厳正な処分、内部統制の再構築など、抜本的な問題解決策を早期に求めた附帯決議を付して認定、承認いたしました。

また、11月30日に行われた総務財政委員会において、私たち自由民主党神戸市会議員団が提案した、市職員の組合費に対するチェック・オフを廃止する、議員提出第38号議案「神戸市職員の給与に関する条例の一部を改正

する条例」については、閉会中の継続審査となりました。

12月5日の本会議では、人権擁護委員候補者推薦の件及び平成30年度一般会計補正予算案など合計31議案が可決。また、12月6日の本会議で、9月議会で採決しなかった平成29年度の各会計決算及び関連議案、合計26議案が可決されました。また、引き続き、私たち自由民主党神戸市会議員団から、岡田ゆうじ議員(垂水区)、上島のりひろ議員(東灘区)、河南ただかず議員(中央区)、及び、佐藤公彦議員(西区)が一般質問を行いました。

平成30年第2回定例市会11月議会で一般質問



岡田ゆうじ議員 上島のりひろ議員 河南ただかず議員 佐藤公彦議員

平成30年 第2回定例市会 11月議会 意見表明

平成30年12月4日
自由民主党神戸市会議員団

平成29年度神戸市各会計決算及び関連議案 について、要望を付して承認しました。

自由民主党神戸市会議員団は、平成29年度神戸市各会計決算及び関連議案合計26件を下記の理由および要望12件を付して、認定並びに承認いたします。ただし、決算第1号から決算第21号まで及び第56号議案から第60号議案までについては決算特別委員会に提出された附帯決議案のとおり、附帯決議を付して認定、承認いたします。

理由

先の10月15日に表明した、平成29年度決算に関する意見の内容に加え、市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反問題について、第三者委員会の中間報告も踏まえ、違法に支給された給与・手当の額が報告されました。一定の進捗が認められ、また今後適正に返還請求等が行われることを期待し、決算を認定いたします。

要望事項(抜粋)

- 神戸市の国際交流の強化と国際的に活躍できる人材の育成の観点から、神戸在住中高生の海外留学を積極的に推進すること。
- 台風21号の高潮災害に鑑み、県市協調のもと、速やかな高橋川防災対策等に着手すること。
- 神戸市は女子サッカーの発祥の地であり、日本女子サッカーをリードしている立場でもあることから、女子サッカーを主とするスタジアム兼、各種のイベント等も可能なスタジアムを整備すること。
- 認知症対策神戸モデルやヘルプマーク・ヘルプカードの普及啓発のため、かもめーるや年賀はがきを活用した広報政策を更に推進すること。
- 六甲山森林整備事業を計画的に着実に進めること。
- こども食堂など貧困家庭やネグレクトされる子供の居場所づくりについて施策を展開すること。
- 空き家活用支援策については、関係する団体・業界との更なる連携強化を図ること。
- 附置義務駐輪場に関しては、十分にその場所の告知を行い、有効活用に努めること。
- 神戸市が始めたランドバンクの仕組みを、空き地空き家が目立つ長田区丸山地区において、民間事業者とともに設立し、同地区再生プロジェクトを実施すること。
- 神戸電鉄粟生線の上下分離調査については、北区、西区の全体的な運賃低減につながるものとする。
- 神戸ワイナリーは、道の駅などの形で民間活力を導入し、観光拠点としての新たな商業施設として、早急に再整備を行うこと。
- 西神地域のバスターミナル再整備については、他都市の良い点を参考にし、副都心の顔となるようなものにする。



子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市会議員 吉田健吾事務所

〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456 ●JR「摩耶駅」下車、北東へ徒歩約4分

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
yoshidakengo.jp



神戸市政報告



編集・発行:自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
灘区

吉田健吾



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部卒業(在学中は野球部で活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社ユーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選●家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会、都賀だんじり保存会、神戸楽生会、灘納税協会青年部会、神戸青年会議所

神戸市の決算 平成29年度

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	7,789億円	7,730億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,971億円	6,886億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,554億円	3,024億円

平成29年度の一般会計決算は、社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などともなう個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを進めたことなどから、黒字(16億7800万円)を確保することができました。

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく

一般会計の支出を 50.3万円にします。

福祉の充実に 約20.3万円 	教育・文化の振興に 約9.1万円 	環境・衛生の向上に 約4.4万円
産業の振興に 約0.9万円 	住宅・まちづくりに 約2.2万円 	道路・公園に 約1.9万円
消防・救急に 約1.2万円 	会・区役所・市役所の 行政の運営などに 約4.4万円 	市債の返済に 約5.9万円 市債

ごあいさつ MESSAGE

おだやかな新春となりました。皆様には益々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。また、平素よりご理解とご支援をたまり心より御礼申し上げます。

さて、去年は大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号など、関西圏も幾度となく災害にみまわれました。灘区におきましても六甲山域を中心に被害があり、安心安全のまちづくりを進める取り組みは決して怠ってはならないと、改めて強く感じました。市民のみなさんの暮らしを守るため、様々な分野の施策にバランスよく取り組んでまいります。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年度決算特別委員会におきまして、水道局と建設局に対し局別審査を行いました。中面にその議事録(抜粋)を掲載しています。ぜひ、ご一読ください。よろしくお願い申し上げます。

神戸市会議員 吉田健吾

行政調査 REPORT

12月20～21日、『大都市行財政に関する特別委員会』の行政調査で、JAMSTEC(海洋研究開発機構)に行きました。神戸市が取り組む新たな産業として海洋産業にも力を入れていきたいと思いました。



※海洋研究開発機構(Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology: JAMSTEC ジャムステック)は、平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基礎的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とした組織です。



平成30年10月1日 **議事録抜粋**

平成29年度決算特別委員会で水道局に対し、局別審査を行いました。

1. 上ヶ原浄水場の再整備について

■質問: 吉田健吾
ここ数ヶ月の間に、大規模な自然災害が発生し、各地で断水、停電等が数多く発生している。中でも、水は生命の危機に関わることなので、市民の方の命を守るためにも、十分な備えが必要であると考え。

現在、**老朽化が進む上ヶ原浄水場の再整備**を検討しているようであるが、多額の費用がかかると思われることから、その必要性についてうかがいたい。

■答弁: 経営企画部長
上ヶ原浄水場は淀川以外の水を市街地へ送ることができ、標高100m付近に位置することから、ほとんど動力を必要とせず、効果的・効率的に送水することが可能な施設である。

例えば、大規模災害による広域停電や津波被害により、本市が依存している**阪神水道企業団からの送水が停止となった場合でも、最低限の停電対策を講じることで、送水を継続することができる機能**を有しており、今後も安定的に水を供給するためにはならない重要な浄水場であると考えている。現在の施設は昭和4年に建設され、老朽化が進んでいるため、再整備を実施する。

■要望: 吉田健吾
災害はいつ起こるか分からないため、早く完成するように進めていただきたい。**公民連携を進めれば、コスト削減**につながり、今後安定的な経営をしていく上で非常に重要になる。

2. 悪質事業者対策について

■質問: 吉田健吾
24時間365日安心して水回りのトラブルを相談でき

る窓口である「**水道修繕受付センター**」の問い合わせ件数等の現状について伺いたい。

■答弁: 局長
水回り修繕に関する契約トラブルについて、消費生活センターへの相談件数は、平成28年度で258件、平成29年度で273件と増加傾向である。修繕受付センターを受託している神戸市管工事業協同組合では修繕事業者を増やす等、漏水調査及び修繕体制を強化して対応している。

■再質問: 吉田健吾
市民の方への認知度は向上していると思われるが、他に当局として取り組んでいる**悪質事業者対策**には、どのようなものがあるのか。

■答弁: 局長
昨年度から消費生活センターと新たに建設局下水道部とも連携し、PRイベントのタイアップや被害手口、防止対策等の情報共有等を行っている。

水道局単独では**地域の婦人懇談会や講習会等で職員が被害事例を紹介する等PRIに努めている。**

■要望: 吉田健吾
指定業者であれば携帯証があるし、なければ悪質業者の可能性があるということも啓発していただきたい。

神戸市水道局
水道修繕受付センター
0120-976-194 (通話料無料)

3. 工業用水道事業について

■質問: 吉田健吾
産業発展の一助として、東灘区から長田区までの一部の沿岸部に進出している企業に対し、上水道より安価な**工業用水**を供給しているが、**現在の経営状況**についてうかがいたい。

■答弁: 事業部長
本市の工業用水道事業は、産業界からの要請を受けて、昭和39年9月から一部給水を開始し、現在は日量10万6,000m³の供給能力を有している。現在、供給能力に対する契約率は83%となっている。財政面では、今年度予算で、**1億7,700万円の黒字を見込んでいる**状況である。

■再質問: 吉田健吾
経営環境が明るいと見えないうえ、給水収益を増やすためには、**新規企業を獲得する必要がある**が、どのような対策を講じているのか、成果はあがっているのか

■答弁: 事業部長
「経営基盤の強化」の取り組みのなかで、ご指摘の新規企業の獲得も位置づけている。具体的には、①既設配管から進出企業までの配水管敷設経費の一部を水道局が補助する支援制度の創



平成30年10月5日 **議事録抜粋**

平成29年度決算特別委員会で建設局に対し、局別審査を行いました。

1. ヤミ専従について

■質問: 吉田健吾
ヤミ専従については、様々な事実が発覚している。第三者委員会や行財政局の調査があるが、先日の企業建設委員会で調査中との回答であったが、その後何かわかったことはあるか。

■答弁: 局長
必要に応じて職免手続きが行われていることを確認している。常任委員会では、さらに詳細な調査を行っていくと答弁を行ったが、本人等の聞き取り等については、**第三者委員会による調査に委ねたい**と考えている。

2. 大阪湾岸道路西伸部の整備促進

■質問: 吉田健吾
灘浜住吉川線といった、身近な一般道の**渋滞対策**にも寄与するなど、環境面からも必要不可欠な路線である。早期開通に向けて、より一層、強く働きかけていくべきと考えるが、現在の取り組みについてうかがいたい。

■答弁: 湾岸道路本部長
事業化から2年が経過し、現在、事業者からは、六甲アイランドにおける準備工事や、神戸山手線と接続するトンネル工事の契約に向けた手続きを進めている。早期の整備について、引き続き、国、阪神高速道路(株)等に強く働きかけていきたい。

■要望: 吉田健吾
次は一般道の灘浜住吉川線の**渋滞緩和の検討**を道路管理者として行っていただきたい。

設②企業誘致部局と連携した積極的なPRを行っている。平成27・28年度に支援制度を活用した企業の進出があった。

■要望: 吉田健吾
地域の特性にあったやり方や北区・西区で新しい事業者が出てきて水道を利用しているという状況も鑑みながら、これからの工業用水道のあり方について検討していただきたい。

3. 六甲山の森林整備について

■質問: 吉田健吾
土砂災害対策は、森林整備も重要である。森林整備戦略を策定し取り組んでいると聞いているもののやや印象が薄く、スピード感をもって取り組む必要がある。

■答弁: 湾岸道路本部長
六甲山の森林面積は約8,200haと広大で、管理道が少なく、放置された森林が多いこと、六甲山の約9割を占める広葉樹林の整備手法が確立されていないことなどが課題となっている。六甲山を災害に強い森林とするために、**道路防災計画などと連携しながら、計画的に森林整備を推進**していきたい。

4. 登山道の管理について

■質問: 吉田健吾
今年の**豪雨災害では多くの登山道で被害**があったと思うが、被害の確認をどのように行っているのか、また被害状況はどうだったのかをうかがいたい。

■答弁: 公園部長
職員によるパトロールや市民からの通報により、情報を入手し、被災情報をもとに直接職員が現地に出向いて確認を行っている。今年、7月豪雨や台風の影響により、通行に支障をきたしている主なもので27箇所を被災を確認している。軽微な被害については順次復旧を進めている。一方、トウエンテイクロスや二本松林道など、大きく斜面が崩れて道自体が消失しているところについては、**ホームページなどで利用者に通行情報を発信**しつつ、国や県など関係機関と対応を検討している。

■要望: 吉田健吾
面積が広く数も多いので、情報収集が大切であると思う。システムを構築するなどしっかりと工夫してもらいたい。

5. 質の高い道路空間づくりについて

■質問: 吉田健吾
三宮など都心部と、都心部以外をバランスよく整備していくことが市全体の質の高い道路空間づくりにつながると考えるが、今後の取り組みをうかがいたい。

■答弁: 局長
都心部だけでなく住宅地や郊外の道路まで、市内全域においてバランスよく進めていくことが重要であり、様々な工夫をしながら質の高い道路空間作りに努めてまいりたい。

■要望: 吉田健吾
坂バスというコミュニティバスのバス停があるような箇所は、神戸市が安全管理について積極的に手を出して欲しい。



神戸市会議員 灘区 吉田健吾

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

神戸市会を傍聴しよう!! 傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができます場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。